

【工夫のポイント】

- 流域の開発や地盤沈下などの立地条件の変化により、**農地や農業施設住宅地の浸水被害が深刻化**。
- 排水機場と機場へ導水する幹線排水路を整備し、**強制排水を行うことにより、災害を未然に防止**。

【取組地域の概要】

- 位置 かとりし
千葉県香取市



- 主要作物
 - ・水稻、WCS、いちじく等
- 主要施設
 - ・開水路 3.6km(受益面積1,827ha)
 - ・排水機場 2箇所(新設1箇所、改修1箇所)
- 主な支援施策
 - ・県営湛水防除事業(H8～H22)
 - ・県営ほ場整備事業(S39～S49)

農地や農業施設の湛水被害を防止

排水機場の新設・改修及び排水路の改修により**流下能力の向上**が図られ、豪雨時の**湛水被害の発生が防止**され、地域の安全を確保。



基盤整備
(H8年～H22年)

【整備前】

受益地は周辺河川より低い平地となっており、**豪雨のたびに、農作物や農業用施設、公共施設に被害が発生**していた。



安定的な農業経営の確保

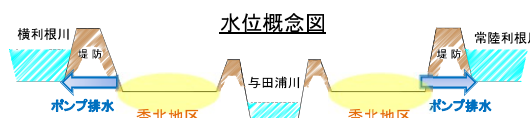
- 豪雨時においても**湛水被害が発生しなくなった**ことから、果樹やホールクroppへの**転作が可能となった**。名産である**いちじくは農園で摘み取り体験ができる**ほか、道の駅で販売されている。



生産現場

地域の安全性向上

- 本地区は、堤防で囲まれた輪中地帯であり、**豪雨時の強制排水が不可欠**。住宅地・道路・公共施設の湛水を防止し、**地域住民の生活安定に寄与している**。



湛水被害の未然防止と財政健全化への貢献

- 平成25年10月の台風26号においては、**日雨量約400mmの降雨があったが、2機場の運転により湛水被害を未然に防ぐことができた**。
- 市内全域では、床上浸水15件、床下浸水303件の被害が生じたが、**当地域での被害は無し**。

農業関係想定被害額

復旧想定額

- 約38億円の想定被害を未然に防止**。

- 事業実施後は、20年に1度想定される規模の豪雨1回あたり**約15億円の国費を縮減**。

【整備なし】

農地・農業用施設
34億円

【整備なし】

国負担分
34億円
(100%国庫負担を想定)

【整備あり】

0億円

【整備あり】

国負担分
19億円